

1・2月水林自然林(四季の里)

概要：多くの植物や野鳥などが生息している森林公園。

ドラマではタイトルバックで主人公とヒロインが佇むシーンで使われた。

住所/TEL：〒960-2156 福島県福島市荒井上鷲西1-1 / 024-593-0101

開園時間：9:00~21:00 / 年中無休（年末年始休み有り）

料金：無料

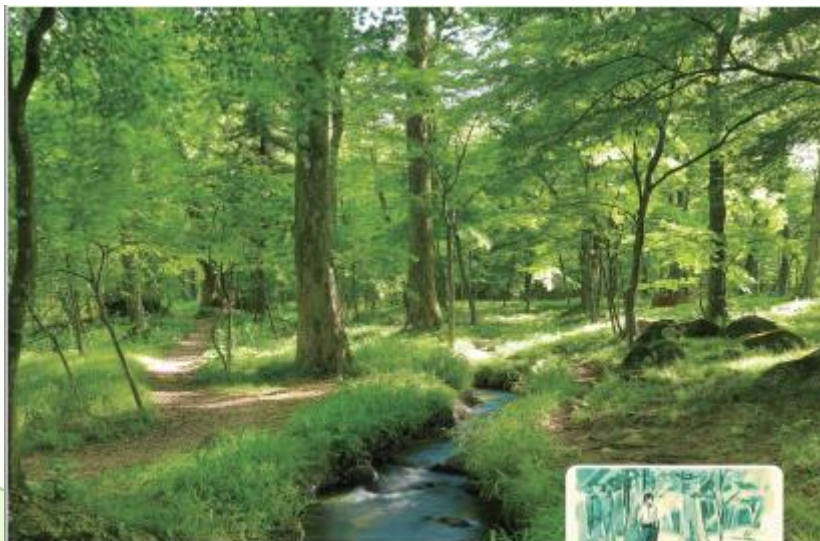
駐車場：有り

アクセス：車の場合→福島駅より25分/福島西ICより10分

バスの場合→福島駅東口（土湯温泉行き）より30分/四季の里入り口バス停より徒歩6分

H P：<https://www.f-shikinosato.com/>

順路：



未来に伝えたいふるさとの生物
ロケ地を撮影する撮影にユール列



四季の里園内図

3・4月福島聖ステパノ教会

概要：今年で築115年を迎えた。明治時代に設立された基督教の教派「日本聖公会」の東北地方最初の拠点となり、1905年に現在の教会が建てられた。

ドラマでは「川俣の教会」として、主人公とヒロインが初めて出会う運命的なシーンで使われた。

住所/TEL：〒960-8034 福島県福島市置賜町8-29 / 024-522-5345

開館時間：教会内見学は行っていないが、毎週日曜日に礼拝有り（要確認）

料金：無料

駐車場：無し

アクセス：福島駅より徒歩15分

H P：<https://nssk-tohoku.com/church/fukushima/>

地図：



5・6月嶋貫本家

概要：先祖が上杉家の家臣だったと言われている。江戸時代に武士を捨て現在の瀬上町に移り住んだ。

ドラマでは主人公が川俣にある母の実家を訪れるシーンで使われた。

住所/TEL：〒960-0101 福島県福島市瀬上町90-2 / 090-2273-5001

開館時間：要確認（完全予約制：090-2273-5001）

料金：有料

駐車場：有り

アクセス：車の場合→福島飯坂ICより15分

電車の場合→福島駅より阿武隈急行線に乗り、福島学院前駅で下車して徒歩10分

HP：<https://shimanukihonke.com/>

地図：



嶋貫本家（福島市）
福島市に伝わる歴史ある家。江戸時代、上杉家の家臣として活躍した。明治維新後、武士を捨て現在の瀬上町に移り住んだ。現在は、先祖の邸宅を復元し、展示している。予約制で、見学できる。見学料は、大人500円、小人200円。見学時間は、10時から16時。見学要予約。予約電話：090-2273-5001。予約サイト：https://shimanukihonke.com/

未来に伝えたいふるさとの宝物
ロケ撮影もぜひ福島にエール！



7・8月信夫山

概要：福島市のシンボリックな山で市内を一望できる展望台や公園がある。

ドラマでは一家で夜逃げをした小学校の同級生を思ってハーモニカを吹くシーンで使われた。

住所/TEL：〒960-8252 福島県福島市御山早坂山

料金：無料

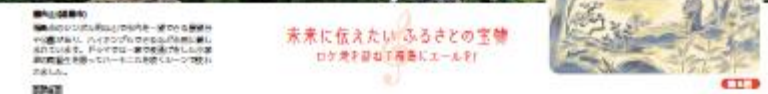
駐車場：有り

アクセス：車の場合→福島駅より10分

バスの場合→福島駅東口（信夫山循環）より5分/福島中央郵便局より徒歩10分

H P：<https://www.f-kankou.jp/spot/leisure/1710>

地図：



9・10月安積歴史博物館

概要：明治22年、県内唯一の旧制中学校として開設された旧福島県尋常中学校の本館。昭和52年に国指定重要文化財に指定された。

ドラマでは主人公が福島商業学校で学ぶシーンで使われた。

住所/TEL：〒960-8252 福島県郡山市開成5-25-63 /024-938-0778

開館時間：10:00～17:00

開館日時：火曜日～日曜日

料金：一般300円

駐車場：有り

アクセス：車の場合→郡山ICより15分

バスの場合→福島交通バス駅前11番乗り場/安積高校下車

HP：<https://anrekihaku.or.jp/>

地図：



11・12月旧廣瀬座

概要：明治20年（推定）に伊達市梁川町に建てられた大衆娯楽施設。広瀬川の氾濫により平成6年に福島市民家園に移設された。

ドラマでは音楽の道をあきらめた主人公が、辛い気持ちを抱えながら自身が作った曲を指揮するシーンに使われた。

住所/TEL：〒960-2155 福島県福島市上名倉字大石前地内 /024-593-5249

開館時間：9:00～16:30

休館日時：毎週火曜日（年末年始休み有り）

料金：無料

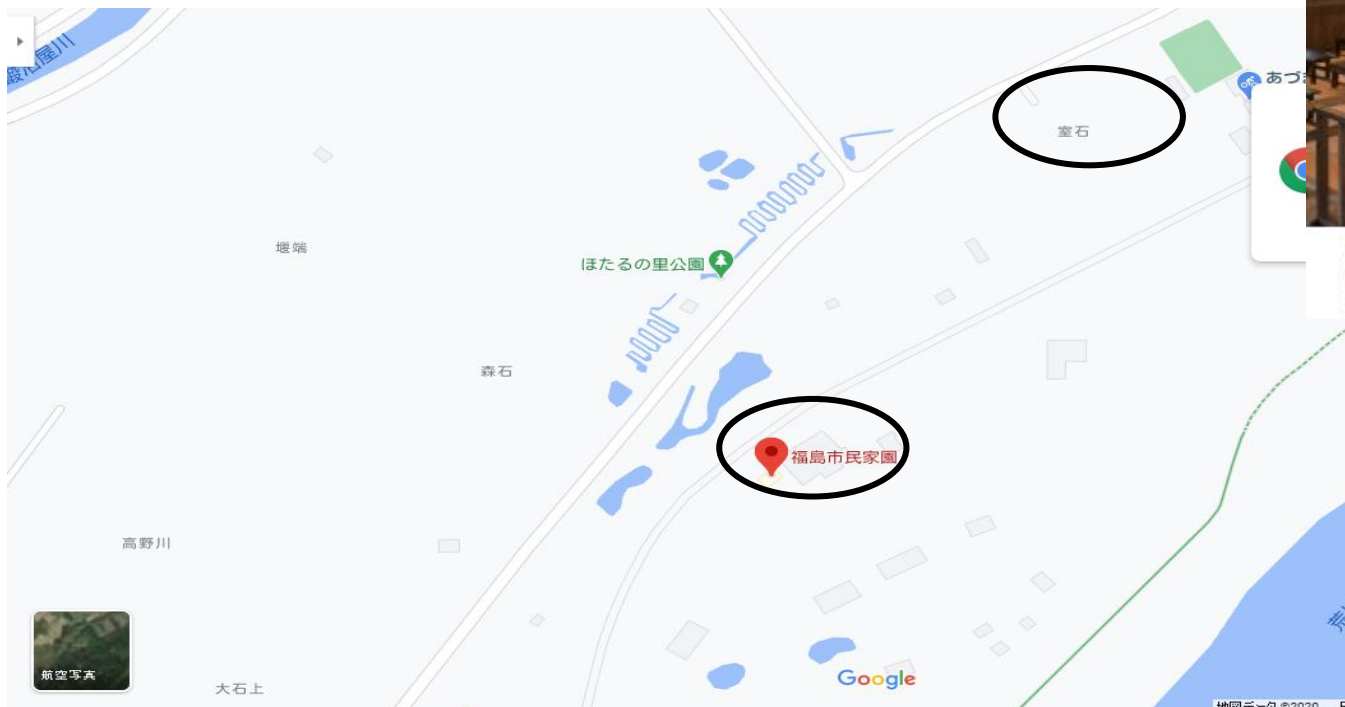
駐車場：有り

アクセス：車の場合→福島駅より30分

バスの場合→福島駅東口（佐原）より30分/室石より徒歩8分

HP：<https://minka-en.com/>

地図：



11・12月旧廣瀬座の歴史
1913年（明治20年）に伊達市梁川町に建てられた大衆娯楽施設。広瀬川の氾濫により平成6年に福島市民家園に移設された。ドラマでは音楽の道をあきらめた主人公が、辛い気持ちを抱えながら自身が作った曲を指揮するシーンに使われた。

未来に伝えたいふるさとの宝物
ロケ場を舞台で福島にエールを

